

「生きる力」をはぐくむ評価のあり方

I 主題設定の理由

本部会ではこれまで、子どもたちに『生きる力』をはぐくむため、子どもの学ぶ意欲や学びの過程、学びあう人間関係づくりを大切に、社会に出て生きる力につながる『ゆたかな学び』を保障していくことに焦点を当て教育研究活動を進めてきた。子ども一人ひとりの『ゆたかな学び』を保障するためには、各学校における児童・生徒や地域の実態に応じた教育課程の編成・実施や、それに伴う指導法の工夫、指導の振り返り改善、適切な評価と支援など、様々な重要な要素が考えられるが、本年度も日常行っている評価を見直し、児童の学び・変容を丁寧に見取り、具体的・積極的な評価を行うことで次の学習活動への意欲を高め、確かな学力の定着をいっそう図りながら『ゆたかな学び』を保障していきたいという考えにたち研究を進めてきている。

II 研究の内容

1 研究の方向性

令和元年度は、これまでの評価方法に加え、逐語録や評価言においても研究の幅を広げることができた。単元を通して作成・活用の仕方をさらに研究しながら、体育科や道徳の授業を通じて検証を行った。その結果、教師と児童との間における関係性が発展したり、理解が深まったりすることを見取ることができた。これらの評価方法は、児童・教師にとって、意欲を高め心の成長を認められる有効な手だてであるという成果が得られた。

2 研究授業

・本年度の授業実践について

◇ 令和元年8月28日（水）授業者 川崎 剛先生（日下部小）

第3学年体育科 「幅跳び名人になろう」の実践を通して

◇ 令和2年2月5日（水）授業者 古屋 岳治先生（玉宮小）

第6学年道徳科 「いじめをなくすには」

III 成果と課題

1 成果

- ・二回の授業研究はとても効果的であった。部会研究の成果が授業によく結びついていた。
- ・県教研でも本部会の研究が高く評価された。
- ・教師の言葉や子どもの反応などの記録を取り、それをもとに振りかえることができたことは良かった。
- ・評価言について改めて捉え直し、授業者の言葉がけの大切さを再確認することができた。
- ・一枚ポートフォリオの有効性が評価され、校内研や個人実践の中でも授業改善の手立てとして注目されるようになり、本部会の継続した研究が還元できる機会も増えてきた。
- ・今年度も優れた授業実践を提供していただいた。一枚ポートフォリオの振り返りとともに、評価言に視点を当て、逐語録を作成した実践は、場の工夫やもれなく評価の声かけができるローテーションの仕方と合わせて、是非みなで共有したい有効な実践だと思

- う。また、道徳の授業では、教科化に伴って疑問となる展開のしかたや、評価につなげるワークシートを活用した実践を提供していただき、研究を深めることができた。
- ・評価のあり方として、ポートフォリオは今世間に注目されている。子どもたちへの前向きな評価として、大きな成果である。
 - ・評価言についての研究が深まった。ほめ言葉については、企業でも必要なことだと考えられ、研修を行う企業もあるようです。
 - ・県外研修を実施することができた。博物館との連携とワークシートを利用した評価について研修できた。
 - ・適切な研究計画のもと、研究テーマと関連する長尾先生のご講演や2つの優れた授業実践、また一人一報告と、日常に役立つ研究となり、大変有意義であった。
 - ・教師の言葉がけについても授業研究のときに分担して見取り、評価のあり方として研究できてよかった。また、言葉がけは普段の授業で心がけていきたいことなので、意識して実践していきたいと思った。
 - ・評価を児童の力を伸ばすもととするため、今まで研究を積み重ねてきた一枚ポートフォリオの研究に加えて、授業中の指導者の発する児童への言葉を「評価言」という視点で捉え、指導者の発する言葉の質を高めようという研究を始めたことにより、児童のやる気につながる評価の幅が広がった。

2 課題

- ・ポートフォリオ、評価言に加えて「いつでも、だれでも、手間がかからず」できる評価の研究をしていく。
- ・今年度「評価言」について深く研究できたので、次年度についても研究を深めていきたい。どんな方法で研究を進めていくの がいいか方向性を探っていきたい。
- ・引き続き、作成の負担が少なく有効に活用できる「評価」の方法を探っていけたらよいと思う。
- ・評価言については、まだまだもっと具体的な方法・使い方を学べる機会がほしい。

3 今年度の研究で確認できた一枚ポートフォリオの目的

1) 児童と教師の視点から

- ① 1枚の紙面に、学習前・学習中・学習後が書かれるので、見やすい。
- ② 書かれた学習履歴によって、児童の考え、思い、意欲が見えてくる。

2) 児童の視点から

- ① 自分の予想、考え、履歴などを振り返り、知識や考えを深めることができる。
- ② 1枚のシートのなかで、学習による変容を確認したり、学習することの意味（学習してできるようになった、わかった、大切だ）を感じたりできる。

3) 教師の視点から

- ① 児童の既存の知識や考えを把握することができる。
- ② 学習履歴の記録内容から、次の指導の改善に活かすことができる。
- ③ 学習履歴から児童の学習評価や教師の授業評価に役立てることができる。

(部長 小林 光三)